

# 宝グループ健康保険組合 第2期データヘルス計画（2018～2023年度）の概要

## 健康課題の抽出

・特定保健指導の実施率が低く、特定保健指導の対象者の状況に大きな変化がない。

・医療費総額の高い順に、消化器系の疾患、呼吸器系の疾患、新生物、循環器系の疾患、内分泌及び代謝疾患となっており、ここ数年間、この5疾病が上位5位であることに変化はない。

・上位2疾病の罹患者1人当たり医療費は比較的低く、3～5位は比較的高い。

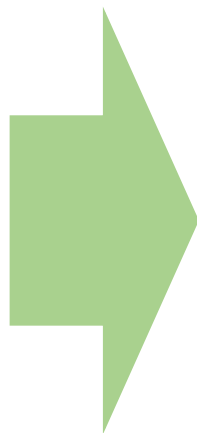
・医療費総額が最も高い消化器系の疾患は増加傾向にあり、そのうち8割以上が歯科関係の疾患である。

・歯科の加入者1人当たり医療費が他健保より高い。

・50歳以上の医療費が増加している。  
 ・他健保と比較した年齢階層別の加入者1人当たり医療費は、多くの年齢階層で比較的低い傾向にあるが、60歳台については、他健保と同程度となっている（他の年代よりも差が少ない）。

・生活習慣病については、他健保と比較して、加入者1人当たり医療費が高く、有病者数も多い傾向にある。

・生活習慣病の中では、高血圧と糖尿病の医療費総額が高く、HbA1cや血圧が受診勧奨基準値以上で服薬歴のない者が相当数いる。



## 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・特定保健指導の対象者の減少を図る。
- ・歯科に関する罹患状況の改善を図る。
- ・生活習慣病の高リスク者の重症化を予防する。

### 事業全体の目標

- ・特定保健指導の実施率の向上、効果的な重症化予防の実施などにより、生活習慣病高リスク者の健診結果数値を改善する。
- ・歯周病リスク検診を活用して、歯周病のリスクがみられる者に対する受診勧奨を行う。

### 保健事業一覧

機関誌発行	人間ドック
ウェブサイト運営	配偶者健診
医療費通知	がん郵送検診
特定健診（被保険者）	歯周病リスク検診
特定健診（被扶養者）	重症化予防
特定保健指導	生活習慣病セルフチェック
育児支援	常備薬斡旋
健康相談	メンタルヘルス支援
ジェネリック医薬品の利用促進	ウォーキングキャンペーン
柔道整復師等の受診適正化	前期高齢者訪問指導
Web歯科問診・Web歯科面談	